

子ども達の豊か
な成長・力の
ために皆で力を
合わせましょう！

「戦争に行きたくない」というのは
自己中心・利己的な国民だ

自由民主党 武藤貴也



2015年7月20日



そういう発言は、
安保法案が成立してから言え

自由民主党 麻生太郎

2015年8月20日

「ナチス政権下のドイツでは、憲法は、ある日気づいたら、ワイマール憲法が変わってナチス憲法に変わっていたんですよ。誰も気づかないで変わった。あの手口、学んだらどうかね」

実は、麻生副総理は2年前の夏に、こんな発言もしています。

ナチスの手口に学んだら

安全保障関連法案に「自分の気持ちでいいから法案が通ってからは、悪影響を与えるつもりで、審議に悪影響を与えるつもりで、麻生副首相は武藤議員の問題発言を国民に謝罪しているわけではなく、あくまでも安保法制や自民党の支持率に影響が出るから控えろと言っているだけです。武藤議員の主張・考え自身を批判しているわけではありませぬ。法律が成立したら、どうにもなるという考えが国民をバカにしていると言えます。

ちょっと待った！

麻生副総理
戦争法案通れば、
「戦争行きたくない」
は利己的というの？

安倍政権の戦争法案に反対する学生団体に対して、批判した武藤貴也衆院議員の発言。
その後、麻生太郎副総理・財務相は8月6日の自民党麻生派の会合で、

戦後70年 私たちは
平和な日本をのぞみます！
世界の宝 憲法9条を大切にします！
戦争する国を認めない！

7月17日、国会前抗議は、のべ5万人(主催者発表)が集まりました。
札幌で「戦争したくないてふるえる」デモを立ち上げた、19歳の女性は「無関心ですごく怖いことだと思ってる、誰かが声をあげなきゃと思ってる私が声をあげました。」「声をあげたらバカだからしゃべんな」とか、「ギョルだから何も考えない」とか、色んな誹謗中傷が来たけど私はここに立っています。いっばい傷ついたけど、ここに立って声をあげています。安倍、聞こえるかい。お前のせいであつた。いっばい傷ついた。いっばいここに立って声をあげてる。怖いからだ。怖くてふ

SADL SEALS
若者・学生が
連日国会前へ

るえるから。戦争したくなくてふるえるから、ここに立って声をあげてます。

昨日東京に来ました。今までは渋谷、原宿、ディズニールランドしか行かなかったんですけど、初めて国会前に来ました。狂ったこの世界が進んでいくのが怖いから、今私は動いています』と語りました。

「安倍さん。あなたの手の中に、民主主義も、この国の未来もありません。」

7月24日、国会前抗議行動で大学3年生の女性の発言を紹介します。

『今日は安倍晋三さんに手紙を書いてきたので読ませていただきます。

安倍晋三さん。私はあなたに底知れない怒りと絶望を感じています。先週、衆院安全保障特別委員会、安保法制がクーデターともいえる形で強行採決されました。

沖縄では、県民同士を争わせ、新たな基地建設がすすめられています。

鹿児島では、安全対策も説明も不十分なまま、川内原発を再稼働させようとしています。

一方、東北には、仮設住宅暮らしを4年以上続けている人はまだまだたくさんいらつしやいます。

あなたはこの状況が「美しい国・日本」のあべき姿だといえますか。後藤健二さんが殺害されたとき、私は日本も米国のように対テロのたたかいを始めるんじゃないかと思つて、とても怖くなつたのをいまでも覚えています。

しかし、日本は米国と同じ道をたどつてきていないし、これからもたどりません。

被爆国として、軍隊を持たない国として、憲法9条を保持する国として、私たちは平和について真剣に考え、構築しつづける責任があります。

70年前に経験したこと、二度と繰り返さないこと、私たちは日本国憲法を持つて誓つたのです。

武力に頼る未来なら私はやりません。人殺しを

している平和を、私は平和と呼びません。

いつか私も、自分の子どもを産み、育てたいと願っています。だけど、いまの社会で子どもを育てられる自信なんかない。安倍さん。あなたに私のこの不安をぬぐえますか。

自分の子どもが生まれたときに、真の平和を求め、世界に広げる。そんな日本で会つてほしいから、私は今ここに立つて、こうして声を上げています。

ベビーカーに乗っている赤ちゃんが私を見て、まだ歯が生えていない口を開いて笑ってくれる幸せを。仕送りしてくれたおばあちゃんに「ありがとう」って電話して伝える幸せを。好きな人に教えてもらった音楽を帰りの電車聞く幸せを。

私はこういう小さな幸せを平和と呼ぶし、こういう毎日を守りたいんです。私は、これ以上、私の生きるこの国の未来を

あの戦争はなんだつたのか！
歴史の事実を見つめ、真実をまひ、語り継ごう
歴史歪曲の安倍自民党政権！ 侵略戦争美化

従軍慰安婦(1)

従軍慰安婦はなかった。

「朝日新聞の誤報によつて世界にこの問題が広がつた」という主張や「軍(国)がかかわつたのではなく民間業者がやつていたことで日本の国が責任を負う必要はない」という主張があります。

戦後40年以上たった1991年に自ら「慰安婦」だと名乗り出たのが金学順

(キムハクスン)さん。

このころから朝鮮やアジア各地で被害者本人が声をあげ始めました。

91年当時、国は軍(国)がやつたのではなく、民間業者が連れ歩いたと主張していましたが、92年に軍の深い関与を示す公文書が発見され、93年の軍の関与と重大な人権侵害であること、を認める河野談話とつながるので。

あなたに任せることはできません。

この場から見えるこの景色が私に希望を与えてくれます。

安倍さん。あなたの手の中に、民主主義も、この国の未来もありません。ここにいます、私たち一人一人です。勝ち取りましょう。

2015年7月24日、私は安倍政権に退陣を求めます』

「従軍慰安婦」の言葉は

戦後作られたものですが、戦前は単に「慰安婦」と呼ばれていました。「慰安婦」を収容する「慰安所」が最初に軍によつて設置されたのが1932年(上海事変)それが組織的に行われるようになったのは、南京事件後の1938年。

占領地における日本兵による女性への性暴力が頻発。対日感情の悪化と軍記低下を防ぐとともに軍隊内への性病蔓延を阻止するため取られた措置で、東南アジア各地に設置されたのです。
【続く】